



森洋さん

(79歳・狭山)

狭山池博物館は素晴らしい博物館です。ボランティア活動を通じて、世界中からやってきた人たちに魅力を伝えたいです。

長年、市内の中学校で英語教師として勤めていた森洋さん。退職後、70歳のころに狭山池博物館でのボランティア活動を本格的に始めました。

「狭山池博物館で展示のガイドなどのボランティア活動を行っています。世界的な建築家である安藤忠雄さんが建築した狭山池博物館を見るため、国内外から多くの人が来館し、特に近年は海外からの来場者が増加しています」

建物を目当てに来館した人たちにも声をかけて、展示のガイドをしています。

「狭山池博物館の展示物の多くは、レプリカではなく本物で、中でも、入ってすぐに目の前に現れる堤防の断面が、実際の堤防から切り取られたものだ」と説明すると驚かれます。数年前までは、日本語のみだったガイドブックも、今では英語やフランス語、韓国語などの冊子もあり、海外の人にも狭山池や博物館の魅力を伝えられるようになっています」

森さんが、社会教育の大切さに気づく契機となったのは、教員時代に教育委員会の社会教育担当部署で勤務していたときのことです。

「4年間、学校現場を離れて、社会教育を担当していた際に、狭山池で平成の大改修があり、その工事現場から1400年前

の青々とした葉っぱが出てきたという話を聞いて、わくわくしましたね。話を聞かせてくれた調査員だけでなく、文化協会や婦人会など、学校現場にいたら出会えなかった人たちとかかわることができた4年間は私にとって宝物です。義務教育は9年ですが、その後の人生は長く、生涯に渡って学ぶことがとても多いのだと感じ、現在の活動につながっていると思います」

今後の展望を聞くと、

「これからもボランティア活動を通じて、海外の人や地域の子どもたちに狭山池の魅力を伝えていきたいです。そのためにも、登山や散歩を楽しみながら健康づくりを心がけます」

森さんは、今日も優しい笑顔を届けています。

高齢者防火訪問

堺市消防局では、75・79・83・87・91・95歳および99歳以上(令和7年3月31日時点)の高齢者のみが住んでいる世帯を対象に、防火訪問を行います。訪問の際は、必ず消防手帳などの身分証を携帯しています。不審な電話や訪問には個人情報をお話したり、署名しないでください。

問い合わせ 堺市消防局予防査察課 ☎238-6005

ひとり暮らしや寝たきりの高齢者の自宅を民生委員が訪問

6月から、民生委員がひとり暮らしや寝たきりの高齢者の自宅を訪問します。訪問したときに、「ひとり暮らし・寝たきり高齢者台帳」の作成をお願いします。

問い合わせ 高齢者福祉グループ ☎360-4085

訪問介護(生活援助)会員募集

介護保険の要支援認定などを受けた人への訪問介護(生活援助)を開始しました。シルバー人材センターの会員として、一緒に働きませんか。

対象 市内に住んでいる60歳以上の健康な人 仕事内容 一般家庭の家事や買いもの代行など

問い合わせ シルバー人材センター ☎366-2277

やさしい絵手紙体験

とき 11日(水)・7月9日(水)午前10時30分～午後0時 ところ さやま荘 対象 市内に住んでいる60歳以上の人 定員 いずれも6人(先着順) 持ちもの 鉛筆、消しゴム 申し込み・問い合わせ 参加希望日の前日までにさやま荘 ☎366-2022へ電話または直接

風呂の日

とき 26日(木)午前11時～午後4時(午後3時30分まで受け付け) ところ さやま荘 ※風呂の日以外は入浴料100円が必要です 問い合わせ さやま荘 ☎366-2022

福祉センター閉館日

さやま荘 / 8日(日) さつき荘 / 8日(日)・14日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)